

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	17218
課題名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術後の鼠径ヘルニアの検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2019 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年 2 月～2017 年 12 月に当院でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けられた方、および 2011 年 1 月～2017 年 12 月に当院で鼠径ヘルニア修復術を受けられた方
利用する試料・情報の種類	■診療情報〔詳細：病歴（手術までの治療歴、症状の程度や既往歴、生活歴（喫煙状況など）、身長、体重、カルテ番号、前立腺癌手術前の CT 所見、前立腺癌手術時の記録映像から得られた鼠径部所見、前立腺癌手術の情報（手術方法、出血量や手術時間など）、血液検査所見（PSA 値等）、前立腺癌の進行度、術後経過（入院期間、術後合併症や再発の有無など）等を用います。また、鼠径ヘルニア修復術を受けられた方は、ヘルニア患側や程度や術後経過等の情報を用います。〕 ☐手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） ☐血液 ☐その他
研究の意義、目的	前立腺全摘除術後には鼠径ヘルニアを高頻度に発症することが知られています。しかし、どのような人に発症しやすいのか、どのように予防するのが良いのか、等については十分に明らかにはなっていません。本研究では当院におけるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けられた方の中で術後に鼠径ヘルニアを発症した患者さんの特徴について明らかにすることを目的としています。
研究の方法	診療録等から前立腺手術前後の診療情報を収集し、前立腺手術時の記録映像から鼠径部の状態を確認します。また、鼠径ヘルニアを発症した方に関しては、診療録等から鼠径ヘルニア手術時の状態も確認します。これらの集めた情報を用いて、術後鼠径ヘルニアの特徴や、どのような方が発症したのかを検討します。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1 番 1 号 旭川医科大学外科学講座消化器病態外科学分野 電話 0166-68-2503 FAX 0166-68-2193

	研究責任者： 旭川医科大学外科学講座消化器病態外科学分野 大谷将秀
--	---